



議員の

聞く × つなぐ

職員の声

新人7人に聞く

議会だよりを
読んだことが
ありますか？

いいえ 3人
はい 4人



今春から役場職員として新たなスタートを切った7人の精鋭たち。顔ぶれは新卒組、民間企業経験組、Uターン組とさまざま。同期の仲のよさ、結束を見せつけられた取材となりました。

なぜ小川町役場を希望したのですか。

- ・愛着のある小川町で働きたかった。
- ・小川の自然の中で、のびのびとした子供たちの成長を見たいから。

希望と現実のギャップは。

- ・町民から感謝の言葉が多い。
- ・定時で帰れるイメージだったけど……。

- ・皆さんがやさしいのでびっくりです。
- ・窓口対応で3万人を下回ったことや、少子高齢化を感じる。

この際 言わせて！

- ・暑い日は、庁舎内を涼しくしてほしい。
- ・私物を置くスペースがほしい。
- ・庁舎内に無線LANがあると便利。

ご協力ありがとうございました

編集後記

「青春時代が夢なんて、後からほのぼの思うもの～」2年に及ぶ編集作業を終えた今、頭の中ではこの歌が流れています。何はともあれ、現メンバーによる最後の一冊です。どんな青春時代？だったのでしょか。メッセージから感じていただければ幸いです。

「読みましたよ」の一言に、一喜一憂した2年間。委員と事務局職員の皆様の協力に感謝です。

笠原規弘



議会報が3年連続受賞。多くの視察を受け入れ、全国の議員と交流。大きな収穫となりました。

田中照子



途中参加となりましたが、“力”を束ね頑張った全国5位受賞。次の選択も、もちろんおもしろい冒険で！

戸口 勝



編集会議は、まるで「学生サークル」の活動みたいでした。さわやかな思い出がいっぱいです。

井口亮一



原稿締め切りに追われ午前2時・3時になることもしばしば。集中力との勝負。ホッとします。

高橋さゆり



情熱を込めてつくり上げた紙面。皆様に伝わればいいな。と、頑張った2年間。また一歩前進です。

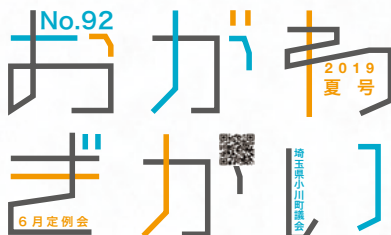
島崎隆夫



傍聴から はじめよう!!

どなたでも傍聴できます (事前連絡は不要です) 役場3階にお越しくださ

次回定例会は
9月下旬の予定です
日程が決まり次第ホームページで
お知らせします。



No.92

小川町議会だより
令和元年6月定例会夏号
(令和元年8月1日発行)

発行責任者：小川町議会議長 松本修三

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 笠原規弘 副委員長 田中照子

委員 戸口 勝・井口亮一・高橋さゆり・島崎隆夫

